

本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和 7 年香美市議会定例会 12 月定例会議が開かれますことに、厚く御礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、最近の香美市の取り組みを例に挙げながら、私の政治姿勢や市政運営についての考え方を説明させていただきます。

まず最初に、連続テレビ小説「あんぱん」についてです。

3 月 31 日に第 1 回の放送がスタートした「あんぱん」は、高い評価を得て、9 月 26 日に、最終回を迎えました。

NHK をはじめ、制作に関わられた皆様、そしてご協力いただきました市議会議員の皆様をはじめ、全ての香美市民に感謝申し上げます。

そして、手前みそではありますが、休日のイベント運営や駐車場整理、また清掃活動など、見えないところで頑張ってくれた、職員にも改めて感謝いたします。本当にお疲れさまでした。

このドラマは、戦後 80 年、放送 100 年の節目にふさわしいドラマとなり、全国の視聴者に、やなせたかし先生・暢さんご夫婦のことを知って頂きました。

私が考えるドラマの効果を 2 つお話させていただきます。

1 つ目は、やなせたかし先生の人生や、作品に込められた想いを、多くの人に、そして幅広く知らしめることができたという事です。

私は、市長就任以来、「やなせ先生を顕彰する建物を建てたい」と議会で述べさせて頂いておりました。理由は、やなせ先生のお仕事が、アンパンマンだけではなく事を、多くの方々に知って頂きたいという思いからでした。

おかげさまで現状のアンパンマンミュージアムの入館者数は、リニューアル前の約 2 倍となりました。そして、これまで以上に幅広い年齢の方々に来て頂けるようになり、やなせ先生の人生を紹介した展示を、じっくりとご覧頂いております。

15 日からは、「特別展 Part 2」ということで、盟友・いずみたく氏と手掛けた仕事の数々をご紹介します。こちらの展示も大好評です。

やなせ先生が作品に込められた「愛と勇気」そして「正義」について、今後も多くの方々に知って頂くべく、取り組みを進めてまいります。

また私がお話ししてきた「先生を顕彰する新たな建物」については白紙とし、まずは既存の建物を活用して、譲渡いただいたドラマのセット再現や、実際に使われた小道具などを香美市内で展示し、「あんぱん効果」を持続させるべく取り組みます。

2つ目の効果は、香美市の知名度が大きく上がったこと。そして多くの企業や自治体との関係が深まったことです。

市長就任以来、県外の市町村長と交流させて頂いておりますが、香美市の事は、ほぼ知られておらず、「こみし」と間違っって呼ばれることも多く経験しました。

しかし、朝ドラ「あんぱん」効果は絶大で、やなせたかし先生のふるさと・香美市ということで、親しみを持って、多くの方々に香美市の事を知って頂くことができております。

そしてやなせ先生の作品にゆかりのある企業、さらに子ども向けコンテンツや施設を手がける企業などを訪問して情報交換もさせて頂きました。合わせて、やなせたかし展を開催頂いた、熊本市現代美術館、かごしま近代文学館などにも訪問させて頂いております。

また、やなせ先生が生み出したキャラクターがある自治体とも交流させて頂きました。「新宿シンちゃん」の新宿区。「うなこちゃん」のさいたま市、「佐世保バーガーボーイ」の佐世保市などとの交流が生まれた他、「人権まもるくん・あゆみちゃん」の法務省人権擁護局にも訪問させて頂きました。今月8日9日に池袋で開催された「アニメ&まんが 聖地 EXPO 2025」にも参加させて頂き、全国の「アニメ・まんが」で、まちづくりに取り組んでいる自治体との交流も、生まれています。

やなせ先生や先生の作品、キャラクターたちが築いた貴重な縁を大切にし、そのつながりを今後の外交活動における重要な機会として活用していくことで、香美市にとって新たな可能性やチャンスを生み出すことができればと思っております。

最後に、個人的なお話をさせて頂きます。

今から2年前の令和5年10月13日、10回目の命日の日に、やなせ先生の哲学や、数々の作品を、多くの方に知ってもらうべく、市長として努力することを、やなせ先生の墓前にお誓いしました。

この日は、10回目の命日ということで、多くのマスコミが、先生の偉業を取り上げてくれると期待していたのですが、NHK ラジオ「きょうは何の日」で報道されたのみでした。

「このままでは、やなせ先生の事が、世の中から忘れられてしまう」と、危機感を持ったことから、「市長としての決意」について、墓前でお誓いしたのです。

そしてその1週間後、奇跡がおこりました。10月20日、朝ドラ「あんぱん」の制作決定が、ニュースで流れたのです。こんな奇跡は、私の人生で2度とないと思います。私にとって、忘れられない2年間となり、やれる事はすべてやったと、充実した気持ちです。

来年は、アンパンマンミュージアムが開館30周年を迎えます。やなせ先生の業績を今後も末永く伝え続けていきたいと思っています。

次に、教育長不在問題についてです。

9月議会終了後、議長に段取りを頂きまして、教育長人事議案に2回とも反対された、10名の議員の皆様と、話し合いの場を持たせて頂きました。

目的は、教育長人事議案の可決に必要な、条件を知るためです。反対から賛成にまわって頂くためには、こういった条件が必要なのか、3つのグループで意見交換させて頂きましたので、その概要をご説明いたします。

1番目に、9月24日15時30分から30分間で、山崎晃子議員、中平議員、西村議員からお聞きしました。山崎議員、中平議員からは、人柄や人格が大事であるということ。西村議員からは教育の安定性と継続性が重要であるとのことご意見を頂きました。3人とも、2回の人事議案について、私の説明では納得できなかったというご意見であり、新たな提案については、きちんと納得できる説明をするよう求められました。そして皆様、教育委員との話し合いが重要であり、教育委員との合意が必要であるという条件を出して頂きました。

2番目に、同日16時から30分間で、舟谷議員、小松孝議員からお聞きしました。

舟谷議員からは、義務教育に精通した方が良いが、柔軟にも考えているというお話がありました。小松議員からは、私の提案の経緯について問題があったというお話をされました。そしてお2人からも、教育委員との合意が必要であるという条件を出して頂きました。

3番目に、10月2日16時から、共産党会派5名からお聞きしました。

まず共産党議員を代表して、笹岡議員から教育委員との合意が、共産党会派の条件である旨、お話がありました。森田議員からは、法律にのっとって教育行政を進められる、人格的に優れた方との条件が示されました。濱田議員からは、教育委員に相談せずに人事議案を出したことへの疑念のご指摘がありました。また笹岡議員からは、マスコミを含めた公開での意見交換について否定的なご意見を頂きました。山崎龍太郎議員、西山議員からは、特にご意見はありませんでした。

尚、3回の話し合いは、議長から静かな雰囲気で行う方が良いとの意向から、公開はせずに行っています。一方で、議事録は完成しておりますので、議員のみなさまの了解が得られましたら、HPにて公開いたします。

そして先ほどご説明しました通り、全ての皆様から、教育委員との合意が必須であるとのことのお答えを頂きました事から、教育委員の皆様と意見交換をさせて頂くべく、日程調整をお願いし、やっと本日11時より話し合いの場を持たせて頂くことになりました。

私からは、教育委員の皆様にも、改めてどういった教育長がふさわしいかについてお聞きし、話し合いを進めてまいります。

これまで9回開催した教育委員の皆様との話し合いでは、教育長には、小中学校で教師としての経験がある人物、そして香美市出身者が望ましいと示されています。

今までの条件に、変更がないかが、話し合いでの大きなポイントになると思います。話し合いの内容につきましては、本会議中に、一般質問にてご質問頂ければ、お答えさせていただきます。

教育委員との話し合いが、本日にずれ込んでしまったことから、候補者への打診、議会への説明の期間を考えると、議会最終日での提案は、非常にタイトなスケジュールであると考えております。

私といたしましては、本日の教育委員の皆様との話し合いが円滑に進めば、速やかに候補者の同意をいただき、教育長の人事同意議案を本議会最終日あるいは直近で行われる臨時議会に提案したいと考えております。

次に、「5つの基本政策と4つの横断的な政策に基づく香美市づくり」についてです。

最初に、基本政策の1つ目、経済の活性化についてであります。

まずは議会の冒頭で述べさせて頂いた通り、朝ドラ「あんぱん」の効果を、できるだけ長く持続させ、今後も多くのお客様に香美市に来て頂き、香美市にある名産の数々を、ご購入頂きたいと考えております。

そこで来年度からは、「愛と勇気の道」美良布商店街に面した古民家を、市が借上げ、リフォームして新たに設置する、「(仮称) あんぱん館」において、「嵩の部屋」「朝田パン店」のセットやドラマの小道具などを展示し、朝ドラ「あんぱん」ファンの皆様を呼び込みたいと思います。そして、やなせ先生の多彩なお仕事について、商店街の中でご紹介できるような取り組みを考えています。

この取り組みにつきましては、香美市として初めて、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを導入いたします。

「新しい家よ！古民家再生プロジェクト」ということで、香美市の財政的な負担を軽減し、またこのクラウドファンディングの宣伝を通じて、美良布商店街を多くの方に知って頂くことに繋がりたいと考えております。

そして朝ドラ「あんぱん」ファンの皆様への協力もお願いし、香美市と一緒に、今後も「あんぱん」を応援し続けて頂きたいと考えております。

先進的な事例としては、令和3年春放送の「おかえりモネ」の舞台となった登米市が、今年9月にファン感謝祭を開催したとのことでした。

香美市も「あんぱん」ファン感謝祭の開催を見据え、まずはこのクラウドファンディングを成功させるべく、取り組んでまいります。

次に、アンパンマンミュージアムに訪れたお客様を、香美市内で周遊して頂くための「kamica デジタルスタンプラリーキャンペーン」についてです。

2つのコースを設けていますが、Aコースを、香美市「愛と勇気のまち」を巡る周遊スタンプラリーと名付けました。

狙いとしては、香美市を周遊して頂くための入り口であるアンパンマンミュージアムに来て頂いたお客様に、まずは kamica アプリをダウンロード頂きます。そして大川上美良布神社、道の駅美良布などにお立ち寄り頂きたいと考えております。

そして願わくば土佐山田町や物部町のスタンプポイントにも足を運んで頂くことを期待しております。8ヶ所すべてを回ると、kamica ポイントが900ポイントプレゼントされます。

また、もう一つのBコースは、やなせ先生が香美市のために生み出してくれた14キャラクターをデザインした、土佐山田駅周辺のキャラクターマンホールについて、全て回って頂くもので、キャラクターシールの認定証をプレゼントするという試みです。こちらは、香美市民を中心に考えており、ご家族と回って頂くなど、kamica への愛着、利用率の向上につながればと考えております。

今後も kamica を、香美市民だけでなく、他地域の方々にも知って頂き、多くの方に香美市でお買い物をして頂くべく、取り組んでまいります。

次に、新たに建設を予定している楠目産業団地についてです。

この計画は、実施主体である高知県と協力して進めている事業であり、令和5年に、香美市内6つの候補地を調査しました。そして昨年度から、予岳地区に絞り、地質や排水についての調査、地権者への意向調査を行い、住民説明会を開催しております。

私としましては、香美市内に、雇用の場を作り出すことは、人口を維持する事に効果があり、若い世代を呼び込むことにもつながると考えております。

また南海トラフ地震が想定される高知県にとって、高台の産業団地建設は、県経済の為にも必要だと感じています。

そこで、5月13日には、予岳地区での地元説明会に、私も参加させて頂き、住民の皆様のご意見をお聞きしました。

その後、2回目の説明会の準備をしていた所、県から新たに土生川のハザードマップが公表されました。そこで、産業団地が建設されたらどういった浸水予想になるかについて、改めて調査をし、そのシミュレーション結果も合わせてご説明した2回目の住民説明会を、10月21日に開催した所です。

市からの説明を受けて、予岳地区の皆様で総会を開催後、改めて地区から当該事業に対するご意見をいただける予定です。

次に基本政策2つ目の健康長寿の香美市づくりです。

今年も、働き盛り世代の健康づくりのきっかけ作りと、生活習慣病の発症予防を目指して、「香美市わくわくワークアウトチャレンジ」を実施しております。

2つのコースを設けており、それぞれ特典として、「ゆるやかチャレンジ」は、健康センターセレネ利用券1枚に、kamica500ポイント。「しっかりチャレンジ」は、セレネ利用券3枚に、kamica1,500ポイントです。どちらも抽選50名という事で、多くの市民に参加して頂ければと思っております。

今後も、市民の健康づくりに向けて、色々なアイデアを出して取り組んでまいります。

次に基本政策3つ目の教育の充実です。

今月14日、ICTを活用した情報教育を推進する「全日本教育工学研究協議会」の全国大会を視察するため、つくば市を訪問させていただきました。

この大会を主催する「日本教育工学協会」は、通称JAET（ジャエット）といい、文部科学省が進めるGIGAスクール構想の理論と実践について、大きな影響力がある組織です。

またJAETは、教科指導におけるICT活用、情報教育、校務の情報化、情報化の推進体制の4つについて、「学校情報化認定事業」を実施しております。この認定制度において、香美市内10校の小中学校の内、9校が認定校になっており、年度内には、全て認定校となる見込みです。

さて、つくば大会では、文部科学省の学校情報基盤・教材課長の基調講演があったのですが、私が小中学校の頃とは全く違った、これからの時代を生き抜く力を身につける学校の姿を、ご説明していただきました。

簡単に言えば、暗記型の人材育成から、価値を作り出せる人材育成に変わったということだと思います。

探究のまち・香美市では、「探究」を教育の中心に据えた小中学校の教育活動はもちろん、高知県立山田高校にも、「グローバル探究科」「ビジネス探究科」が設置されています。

私は「探究」について説明する機会があれば、「探究とは、やなせたかし先生のように、生涯通じて学び続け、チャレンジし続ける生き方だ」とお話しています。

自分自身の興味関心を深め、継続的に学習し続ける生き方です。そして「人生を豊かにするための学び」を突き詰めれば、「探究」に行き着くと考えております。

そして光栄にも、JAET 全国大会が、来年 10 月 30 日・31 日に、高知工科大学をメイン会場にして、香美市で開催されることが決定しました。香美市大会のテーマは「教育 DX で進化する探究の学び～地域とともに創る 未来の学校～」です。

学園都市であるつくば市には、規模の面では太刀打ちできませんが、教育内容は、負けていないと思っております。

つくば大会では、竹園東幼稚園、竹園東小学校、竹園東中学校、そして茨城県立竹園高等学校等、計 6 校が公開授業校として、見学を受け入れていたのですが、おそらく筑波大学も関わって、幼稚園から大学までつなげた「教育によるまちづくり」を実践していることと思います。

来年の香美市大会では、山田高校は公開授業校にはなっていないのですが、高知工科大学が会場となっていますので、保育園・幼稚園から大学まである「探究のまち・香美市」を全国に PR できる良い機会だと思っております。

今後も、香美市のお手本として、学園都市つくば市を参考にさせて頂ければと思っています。また、この大会を成功させるため、来年度予算には、しっかりと配慮したいと考えております。

次に、基本政策 4 つ目の市民を守る災害対策についてです。

高知県は、昨年 1 月の能登半島地震を教訓として、海岸だけでなく内陸部でも、地震に備える必要性を示しています。能登半島の被災した自治体では、地震後に他の自治体へ避難した住民が、住み慣れた土地に帰ってきていないという状況があり、高知県でも同様の事態が起こるかもしれないとの危機意識からです。

そこで、「高知県中山間地域事前復興まちづくり計画策定指針検討会」を立ち上げ、南海トラフ地震の発災後から、時間を置かず、復興に取り掛かれるよう、事前に復興まちづくり計画を作っておくための、指針づくりについて、検討を始めております。

私も委員として参加し、8 月 18 日に第 1 回、今月 20 日には、第 2 回の検討会が行なわれ、今年度中に策定指針が完成する予定です。

来年度は、今年度中に策定される県の指針を詳細に分析し、当市の地域特性や現状に照らして、目指すべき事前復興まちづくりの具体的な方向性を検討する期間と位置付けます。この検討と並行して、多岐にわたる課題に対応するため、計画推進に必要な庁内横断的な推進体制の検討も進めてまいります。

これら着実な準備を経て、再来年度以降に、具体的な事前復興まちづくり計画の策定に着手できるよう努めてまいります。

最後に基本政策5つ目のインフラの充実と有効活用です。

これまで紙による対面での入札を実施してきました、建設工事、測量・建設コンサルタント等業務について、参加者の利便性向上や業務の効率化を図るために、本年10月1日以降に公告及び指名通知を行ったものから、順次電子入札を実施しております。

担当課に聞きますと、特にトラブルもなく実施できており、入札に参加している事業者からも、香美市役所に足を運ばなくても良くなった事など、良い評価を頂いております。

今後も、住民や事業者にとって利便性が高まる取り組みを進め、業務の効率化にも努めてまいります。

続いて、4つの横断的な政策についてです。

1つ目は、親しまれ信頼される行政窓口への継続的な改善です。

香美市議会において、「ハラスメント防止条例特別委員会」が設置されたことを受けて、市役所職員についての実態を調べるべく、9月1日から12日までの期間で「香美市職員向けハラスメント実態アンケート調査」を実施しました。

このアンケート調査は、香美市役所において、初めて行われたものであり、「ハラスメントのない働きやすい職場づくりのため、職場の実態や認識を把握し、今後の防止策や改善策に役立てる」という目的で実施いたしました。

香美市の正規職員だけでなく、会計年度職員も加えた全職員543名を対象とし、回答があったのは354名で、65.2%の回収率でした。

もちろん特別職も対象としており、「ハラスメントは誰から受けたものですか？」という回答に対し、「特別職から受けた」との回答が4件ありました。私としましては、大いに反省すべきであると考えております。

この調査結果につきましては、庁内で報告させて頂いておりますので、詳細につきましては割愛し、全体的な事だけご報告しますと、「職場環境は快適ですか？」という質問に対し、「とても快適」「まあ快適」との回答が69.5%。「全然快適じゃない」「あまり快適じゃない」との回答が8.5%でした。

このアンケートの意義は、職員一人一人にハラスメントについて考えてもらうとともに、ハラスメント被害者のための相談窓口の実効性を高め、ハラスメント被害を確実に解決できる体制を構築することであると考えています。

このアンケート調査は、毎年実施し、香美市役所が、職員にとって働きやすい環境となるよう、今後とも継続的に取り組んでまいります。



2つ目は、中山間地域対策の充実・強化です。

これまでもお話ししている通り、大柝小学校と大柝中学校の生徒数が減少していることにつきましては、抜本的な対策が必要であると考えており、来年度からは、土佐山田町から大柝小中学校へのスクールバスを運行するため、「香美市物部町スクールバス運行管理委託業務」2,079万円を追加議案として計上させて頂くことを考えております。

大柝小中学校は、小さいながら、先ほどご紹介したJAETからもICT活用が進んだ学校であると、高く評価されている学校であり、香美市にとって、なくてはならない学校です。

この事業を通じて、大柝小中学校の生徒数を維持し、合わせて物部町の活性化をさらに進め、子育て世代を呼び込み、安定的に小中学校を維持できるよう、取り組んでまいります。

3つ目は、こども施策の充実と女性活躍の場の拡大です。

香美市にとりまして、子供たちが健やかに成長できる環境づくりは、とても重要であり、市として美良布保育園の建て替えについて、全力で取り組んでいるところです。

9月議会にて、吉野地区への仮園舎建設につきましては断念をし、もう一度保護者のご意見をお聞きすべく、10月26日に、ご都合のついた6世帯8名の保護者の皆さん方と意見交換を行いました。また対象となる52世帯の方々に質問票を配布し、3世帯からご意見を頂いております。

この意見交換会では、令和2年1月の建設検討委員会設置からスタートしたこれまでの経過をご説明し、1.2年間休園での新築建て替え、2.仮園舎を設置し新築、3.他の場所での新築、4.現園舎での大規模改修という、4つの案について、それぞれご説明しております。

今後は、新たに設置する建設検討委員会の皆さんでご議論頂き、今年度中には、結論を導き出すことを目標として、検討を進めていきたいと考えております。

私としましては、建設検討委員会のご決定に従い、事業を進めてまいります。

4つ目は、文化芸術とスポーツの振興です。

朝ドラ「あんぱん」を通じて、やなせたかし先生に関係したまんが家の先生方や声優さんに多くお会いすることができました。

改めてやなせ先生の偉大さを思い知ると共に、香美市在住のまんが家の皆さんとも一緒になって、香美市のまんが文化について、市としても取り組んでいきたいと考えています。

今月 1 日 2 日と、高知市文化プラザかるぼーとにて、「こうちまんがフェスティバル 2025 まんさい」が開催されました。

本年は、まんが雑誌の月刊シリウス 12 月号に、特別読み切りとして掲載された「高知じもきやら」に、大柝小学校の生徒が生み出したキャラクター「もんちゃん」が登場しております。

またこの日のために、物部町を中心とした地元有志がお金を出し合って着ぐるみを作成し、高知県出身の声優・森嵯美穂さんによって、もんちゃんの声が披露されました。

もんちゃんは、物部町を活性化させるために、小学生が考えたキャラクターで、現在、当時の生徒さんは、高校 1 年生になっています。このもんちゃんに込められた想いは、後輩の大柝小中学生に受け継がれ、商品開発など新たな取り組みも生まれています。

香美市としましては、物部町の活性化に関して、地域を 1 つにできるパワーを持つキャラクターとして、もんちゃんに期待をしております。今後とも、住民の皆さんと一緒に、物部地域の活性化に取り組んでまいります。

以上、5 つの基本政策と 4 つの横断的な政策についてご説明させていただきました。

それでは、本会議に提案します議案についてご説明いたします。

議案第 80 号は、令和7年度香美市一般会計補正予算（第6号）についてです。

議案第 81 号は、令和7年度香美市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）についてです。

議案第 82 号は、令和7年度香美市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）についてです。

議案第 83 号は、令和7年度香美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）についてです。

議案第 84 号は、令和7年度香美市水道事業会計補正予算（第1号）についてです。

議案第 85 号は、令和7年度香美市簡易水道事業会計補正予算（第1号）についてです。

議案第 86 号は、令和7年度香美市下水道事業会計補正予算（第1号）についてです。

議案第 87 号は、香美市企業版ふるさと納税基金条例の制定についてです。

議案第 88 号は、香美市課等の組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてです。

議案第 89 号は、香美市税条例の一部を改正する条例の制定についてです。

議案第 90 号は、児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてです。

議案第 91 号は、香美市子ども・子育て支援法第82条の規定による過料に関する条例の一部を改正する条例の制定についてです。

議案第 92 号は、香美市交流促進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてです。

議案第 93 号は、香美市火災予防条例の一部を改正する条例の制定についてです。

議案第 94 号は、香美市高知広域都市計画事業泰山公園促進委員会条例を廃止する条例の制定についてです。

議案第 95 号は、財産の取得についてです。

議案第 96 号は、財産の取得についてです。

議案第 97 号は、香美市香北町緑地等管理中央センター「ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート」の指定管理者の指定についてです。

諮問第 1 号は、人権擁護委員候補者の推薦についてです。

諮問第 2 号は、人権擁護委員候補者の推薦についてです。

諮問第 3 号は、人権擁護委員候補者の推薦についてです。

以上、議案18件、諮問3件の提案となります。議案の詳細につきましては、お手元の議案細部説明書をご参照頂き、何卒ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。